



報道関係者各位

2010年6月8日

日本の子どもの貧困問題 イオンとセーブ・ザ・チルドレンが取り組む 6月10日～14日「みんなに値下げの5日間」開催

社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

子ども支援のための国際団体(NGO)社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(理事長:上野昌也/理事・事務局長:渋谷弘延、以下SCJ)は、イオン株式会社より年間を通じて、当団体の「子どもの貧困」事業にご支援いただくことになりました。

このたび、6月10日(木)から14日(月)まで全国のイオングループ運営のショッピングセンター内専門店約22500店舗及びジャスコやサティなどGMS約500店舗にて展開する「全国23,000店からの贈り物 みんなに値下げの5日間」セール期間中に、お客さまが精算時に受け取られたレシートをショッピングセンター内店舗などに設置された専用ボックスに投函すると、イオンからその総額の0.1パーセントを当団体の「子どもの貧困」事業、Speaking Out Against Poverty (SOAP) ～夢や希望をうばわれないうために～にご寄付いただきます。イオンの取り組みによって集まったご寄付は、SCJが現在実施中の子どもの貧困の実態調査の結果にもとづいて、子どもとともにを行う啓発事業や教育・保健事業に活用されます。

現在、日本の子どもの貧困率は14.2%(2009年厚生労働省発表)で、7人に一人が相対的貧困下にあり、子どもの生きる希望や夢、あらゆる機会を奪ってしまう「子どもの貧困」は、早急に取り組まなければならない課題です。セーブ・ザ・チルドレンは、すでにアメリカやイギリスなどで精力的に実施してきた子どもの貧困への取り組みと、日本国内で培った子どもの意志表明や、参加を促すノウハウがあります。その実績を生かして当事者である子どもの声をもとにした実態調査を実施し、調査結果をもとに、啓発事業や教育・保健事業、政府や自治体に対する政策提言などを展開していきます。

すでに、政府に対してSCJより要望書を提出し、「子ども・若者ビジョン(仮称)」で子どもの貧困対策が今後の重点施策に取り上げられるなど、着実に成果をあげています。

社会貢献に積極的に取り組み、「ショッピングセンターで子どもたちを育てていく」という理念を持つイオンには、2008年より「ペットボトルキャップで世界の子どもたちに笑顔を!!」キャンペーンをはじめ、今年3月25日から5日間実施された「今こそ値下げの5日間」セール売上の一部を子どもの貧困への取り組みにご支援いただいている実績があります。

【「みんなに値下げの5日間」の概要】

実施日: 2010年6月10日(木)～14日(月) 5日間

実施店舗: ①全国約22,500店舗の専門店

イオンモールなど約400のイオングループ運営SC内の物販専門店合計

②全国イオングループ直営の総合スーパー約500店舗

ジャスコ、サティ、ビブレ、イオンスーパーセンターなど

■セーブ・ザ・チルドレンとは:

1919年に設立した子ども支援NGO。数少ない団体にだけ認められた、国連経済社会理事会のNGO最高資格である総合諮問資格を取得しています。現在、世界で29のそれぞれ独立した組織がパートナーを組み、世界最大のネットワークで120カ国以上で活動を展開しています。90年にわたる活動は、世界のNGOの代表格として各国政府からもその重要性を認められています。